

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし、
全国で組織建設と拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

残業なしでも生活できる大幅賃上げ実現！ 生活悪化突破へ 21 春闘討論集会



コロナ禍の生活悪化突破へ、JMITU2021年春闘討論集会（11月29日・湯河原）

「残業なしでも生活できる大幅賃上げを実現し、生活悪化を突破しよう」。21春闘に向かうJMITUの春闘討論集会が11月28～29日、静岡県・湯河原でおこなわれました。

討論集会には全国から約80人が参加。コロナ禍に乗じた賃上げ抑制攻撃の強まりが予想されるなか、情勢負けしない構えをつくり、生計費原則にもとづく要求をつくりあげること、産業別統一闘争と組織の拡大強化で要求実現をめざすことなど確認しました。

コロナ禍というかつてない情勢のもとでの21春闘について三木委員長はあいさつで、「何よりも情勢に負けず元気に春闘をたたかう構えと態勢をつくること」「産別と幹部の果たす役割がきわめて重要だ」と強調。その上で、①大幅賃上げを求める要求はきわめて切実であり、職場の思いを結集することができれば要求実現は可能であること、②経営者が労働者のくらしと雇用をまもる責任を自覚し、要求に応

る努力をすることが企業の将来展望を切り開く力となること、③最低賃金を含め形成されつつある「コロナ禍だからこそ大幅賃上げが必要」との合意を社会的世論にひろげることができるならば、大幅賃上げは可能だとのべました。

討論集会では「21春闘パンフ」の読み合わせ、笠瀬書記長の方針案提起につづいて2日間にわたり討論。30人が発言しました。

討論では、「コロナ禍のなか労働組合の側から要求をあきらめる状況があった。低額回答にはストを含め抗議することが大事。あらためて学習と各支部激励を大事にしたい」（東京東部）、「家族からの一言メッセージが一時金上積みの力になった」（京滋・カシフジ支部）、「二次のストライキで上積みをかちとった。会社の不況宣伝に負けない学習が大事」（埼玉）、「21春闘はストライキを全面に押し出したたたかひが必要」（兵庫）など、秋季年末闘争の教訓を21春闘に生かしたたたかう決意が語られました。

春闘を元気にたたかい、コロナ禍の生活悪化を突破！

3月7日 東西でつどい開催 -21春闘をともにたたかう金属労組が発足総会



ダイハツディーゼル、荏原合同、オルガン針、東熱などの「まじめ金属労組懇」とJMITUなどで構成する21春闘をともにたたかう金属労組懇談会の発足総会が11月18日、東京都内で開かれ(写真左)ました。

コロナ感染の長期化でくらしと雇用不安が高まっているもと、3月7日に東西のつどいを開催し、21春闘を元気にたたかうことを確認しました。

18日の21春闘金属労組懇発足総会には、ダイハツディーゼル労組若林書記長、荏原合同労組中嶋委員長、JMITU三木委員長のほかJMITUの埼玉、東京、神奈川各地本の代表が参加。若林代表世話があいさつし、「来年3月7日(日)に東西(東日本・日比谷野外音楽堂、西日本・エルおおさか)で金属労働者のつどいを開催することを確認するとともに、21春闘スローガン、アピール、ポスターなど議論・確認しました。

統一スローガンのメインとして、これまでの『すべての仲間の賃上げと雇用の安定』で、くらしと経済をたてなおそう」に加え、「春闘を元気にたたかい、コロナ禍の生活悪化を突破!」の2本、サブスローガンとして①大幅賃上げと均等待遇ではたらく者の生活を改善しよう!②まともなコロナ対策で、国民のいのちと医療をまもろう!など11本が確認されました。



20年末一時金 135支部分会平均 563,347円(1・90カ月)

JMITUの2020年末一時金のたたかいは、11月27日現在、全国で昨年と同水準の135支部分会で回答が引き出され、支部分会平均563,347円(1・90カ月)、組合員平均592,126円(2・16カ月)。昨年同時期と比べ、それぞれ5~10万円のマイナスとなっています。

コロナ感染の長期化が企業業績に悪影響を与え、残業減で労働者の手取りも減っています。一方これまでの労働者のがんばりによって各企業は内部留保を積み増ししてきました。

コロナを理由に「昨年より低くて当たり前」など

とする経営者に対しJMITUは、労働者のくらしをまもる責任と企業の将来展望を求めねばり強くたたかいました。

日信工業・東京セキスイ(埼玉)、日本ロール(東京東部)、超音波工業(同西部)、東洋精機(同京北部)、マグネエース(長野)、畑鐵工(京滋)の各支部・分会がストライキに入ったのをはじめ、大阪などで決起集会を開催。回答促進や産別団交など産業別統一闘争を強化してきました。多くは妥結・妥結方向となっていますが、なお少なくないところで回答上積み、引き出しを求めたたかっています。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。